

■戦後75年全国戦没者追悼式



# 月刊 チャップリン

2020年(令和2年)

10月15日

第35巻4通巻215号

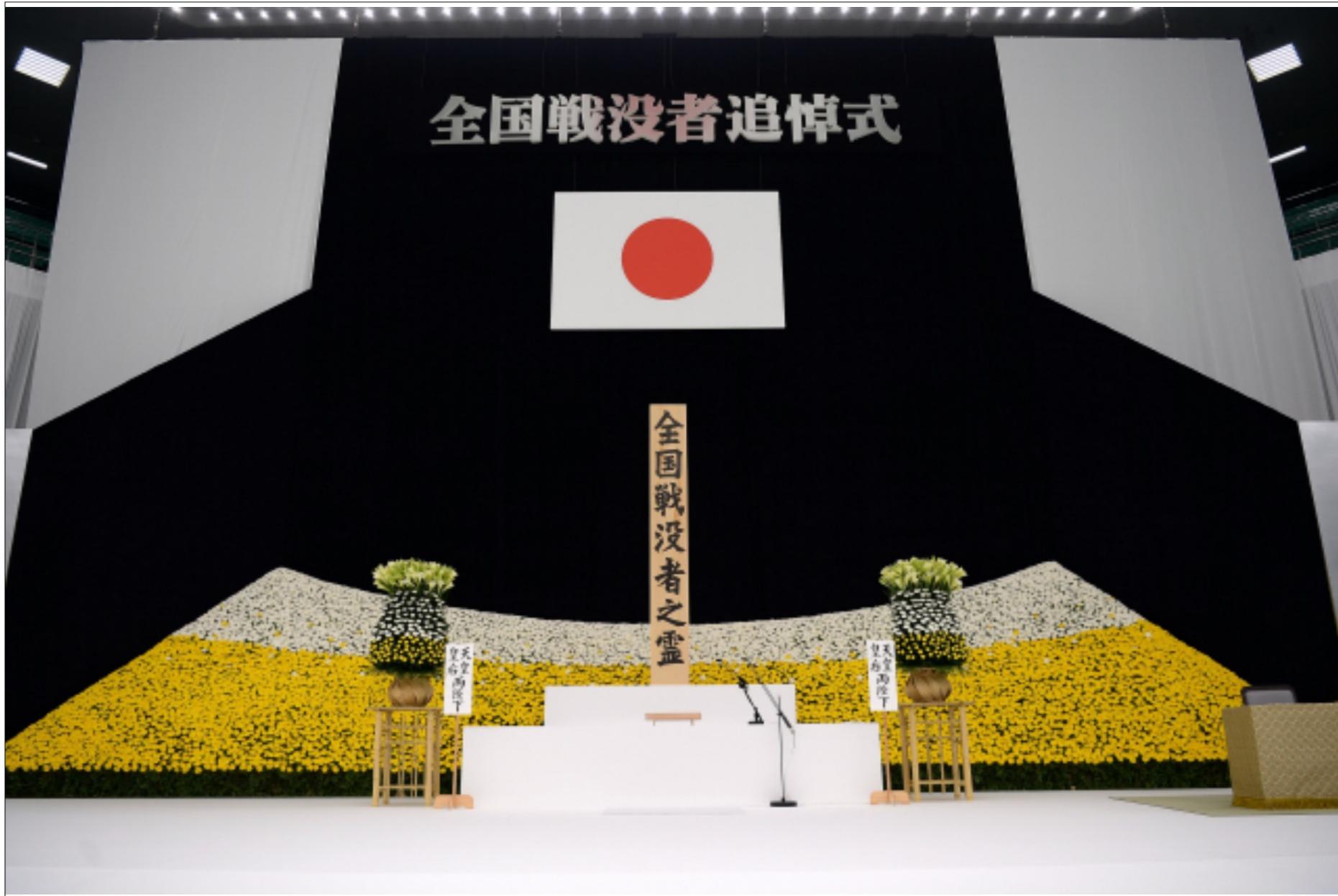
昭和62年5月22日第三種郵便物認可

¥200 1・4・7・10月 15日発行

発行人 株式会社アアムス 〒173-0027東京都板橋区南町62-7スカイコートK. 1階

## 戦後75年全国戦没者追悼式

### 令和2年8月15日 日本武道館



**コロナ影響乗り越え平和を祈る**

毎年8月15日は、先の大戦において亡くなられたおよそ三〇万人を追悼し平和を祈念するため、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」とされている。終戦から75年の令和2年8月15日、政府主催の全国戦没者追悼式が東京の日本武道館で開かれた。今年は新型コロナウイルスの感染対策として戦没者の遺族の参列者を例年のおよそ五千人から二百人程度にまで減らし参列者の間に十分な距離を空け、飛沫感染を防ぐため国家斉唱をとりやめて、演奏のみに切り替えるなど規模縮小の形での開催となり参列者は過去最少であった。安倍晋三首相の式辞の後、正午の時報に合わせ参列者全員で1分間の黙とうを行い、続いて天皇陛下がおことばを述べられた。その後参列者が追悼の辞を述べ参列者による献花が行われた。コロナ禍で参列できない人に配慮し厚生労働省は式典の様子を動画中継した。

## 東日本パイロット協会

### 羽ばたけ東北



災害ボランティア フライヤーズ・レスキュー・チーム  
 〒960-4504  
 宮城県栗原市蒲郷小深沢232-1 電話 0228-36-2717





### 天皇陛下

### おことば

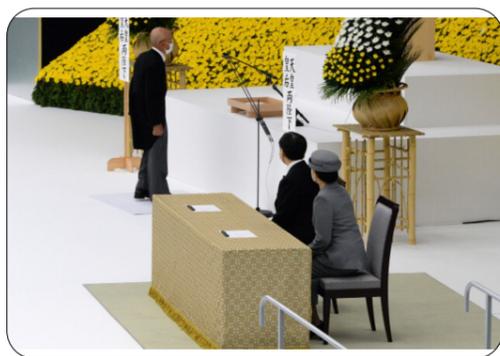
本日、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に当たり、全国戦没者追悼式に臨み、さきの大戦において、かけがえのない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。

終戦以来75年、人々のたゆまない努力により、今日の我が国の平和と繁栄が築き上げられました。多くの苦難に満ちた国民の歩みを思うとき、誠に感慨深いものがあります。

私たちは今、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、新たな苦難に直面していますが、私たち皆が手を共に携えて、この困難な状況を乗り越え、今後とも、人々の幸せと平和を希求し続けていく

ことを心から願います。

ここに、戦後の長きにわたる平和な歳月に思いを致しつつ、過去を顧み、深い反省の上に立って、再び戦争の惨禍が繰り返されぬことを切に願ひ、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、全国民と共に、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。



### 戦争の惨禍を繰り返さない

### 安倍晋三首相式辞

天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、戦没者のご遺族、各界代表のご列席を得て、全国戦没者追悼式を、ここに挙行いたします。

あの苛烈を極めた先の大戦では、300万余の同胞の命が失われました。

祖国の行く末を案じ、家族の幸せを願いながら、戦陣に散った方々。終戦後、遠い異郷の地にあって、亡くなられた方々。広島や長崎での原爆投下、東京をはじめ各都市での爆撃、沖縄における地上戦などで、無残にも犠牲となられた方々。今、すべての御霊の御前にあつて、御霊安かれと、心より、お祈り申し上げます。

今日、私たちが享受している平和と繁栄は、戦没者の皆様の尊い犠牲の上に築かれたものであることを、終戦から75年を迎えた今も、私たちは決して忘れません。



改めて、衷心より、敬意と感謝の念を捧げます。

未だ帰還を果たされていない多くのご遺骨のことも、決して忘れません。一日も早くふるさとにお迎えられるよう、国の責務として全力を尽くしてまいります。

戦後75年、我が国は、一貫して、平和を重んじる国として、歩みを進めてまいりました。世界をより良い場とするため、力の限りを尽くしてまいりました。

戦争の惨禍を、二度と繰り返さない。この決然たる誓いをこれからも貫いてまいります。我が国は、積極的平和主義の旗の下、国際社会と手を携えながら、世界が直面している様々な課題の解決に、これまで以上に役割を果たす決意です。現下の新型コロナウイルス感染症を乗り越え、今を生きる世代、明日を生きる世代のために、この国の未来を切り拓いてまいります。

終わりに、いま一度、戦没者の御霊に平安を、ご遺族の皆様にご多幸を、心よりお祈りし、式辞といたします。

令和2年8月15日  
内閣総理大臣 安倍 晋三



## 特定非営利活動法人 社会生活促進援護会

山梨県笛吹市一宮町南野呂394番地1号  
電話 0553-47-2236